

第42回三笠宮杯全日本ダンススポーツ選手権

The 42nd His Imperial Highness Prince Mikasa Cup All Japan DanceSport Championships



故 三笠宮崇仁親王

Late His Imperial Highness Prince Takahito Mikasa

私は、フォークダンスを通じて、隔たりのない人と人とのコミュニケーションを経験しました。そしてフィギュアスケート、アイスダンスの研鑽の中で、身体バランス、音楽表現などを追及し、ダンススポーツをはじめ、太極拳、ジャズダンスなどを勉強しました。

ダンスは、国境を越えた人と人とのコミュニケーション文化であり、教養であり、誰でもが心から親しめる本能的娯楽でもあります。特に芸術性の高いダンススポーツの演技には、心を奪われる魅力があります。

全国のダンススポーツ愛好家が集う三笠宮杯全日本ダンススポーツ選手権がこれからも益々発展し、ダンススポーツを通じて、広く国民が健康で生き生きとした人生を送られるとすれば、まさに私の喜びであります。

三笠宮杯のあゆみ

三笠宮杯は、1980年(昭和55年)、故三笠宮崇仁親王が旧日本アマチュアダンス協会(JADA)総裁にご就任いただきましたことを記念してご下賜されました。

記念すべき第1回三笠宮杯は、'81テンカップとして故三笠宮崇仁親王、百合子妃殿下のご臨席のもとで開催されました。その後、三笠宮杯は毎年欠かさず開催され、参加選手の増大に伴い日本全国の予選を勝ち抜いたトップ選手による選抜競技会となり、今日では名実ともにダンススポーツ競技の頂点となる全日本選手権として脈々と歴史を積み重ねています。

故三笠宮崇仁親王は、ダンスに大変ご造詣が深く、皇室きってのダンスの名手であられ、1952年には、英国ダンス界最高栄誉の「カール・アラン賞」を受賞されておられます。

このような故三笠宮さまのご臨席の際には、大変熱心にご観戦いただき、出場選手の優勝への意気込みや感激は特に大きく、選手や観客の皆様の敬慕するところとなりました。三笠宮杯全日本ダンススポーツ選手権は、多くの選手に大きな夢と希望を与える大会としてこれからも歩んでまいります。